



日光集落支援員
活動レポート vol.18

「やってみたい」を形に

添谷に「ヤギ牧場」ができました。経営されているのは、竹川奈緒さんという20代前半の女性です。京都の牧場でヤギの飼育を経験され、縁あって添谷に移住されました。私は移住者と集落とのつなぎ役として、関わらせてもらっています。

過疎化や高齢化が課題となっている添谷集落では、「空き家を何とかしたい」「移住者を受け入れたい」という声がよく上がっていました。スムーズな移住には、集落にあたたかく迎え入れてもらうことが大切です。添谷では、住民の方々が情報を共有しあい、空き家の持ち主に話をさせていただき、家を借りることができました。ヤギの餌となる草の提供や柵づくりを手伝っていただくなど、協力して

もらっています。若い新しい風が入ったことで、また一つ添谷の雰囲気も向上しているように感じます。
井中友子



ヤギのエサやり体験の様子

ALT通信 VOL.78

このコーナーは、ALT(外国語指導助手)によるエッセイを、英語と日本語で紹介します。

Hello everyone! This is my very last journal entry. By the time that you read this, I will already be back in America. Both my wife and I will return to the jobs we had before coming. I suppose you may be wondering, "Was packing up everything we own and moving to Japan for two years worth it?" Of course it was! Living in Japan has been one of the best experiences of our lives. We have seen so many breathtaking sights, eaten such delicious food, and have made many wonderful friends. I really think that Japan's willingness to accept foreign people into their society is such a great thing. Hopefully I have been able to give back to Japan as much as Japan has given me. Since it is impossible to sum up all of our experiences in a small journal entry like this, I suppose I will make one last recommendation. If you ever get a chance to live in or travel to in a foreign country, DO IT! Your life will never be the same. Good bye for now and thank you!

Sean

みなさん、こんにちは！これが私の最後の寄稿となりました。みなさんがこれを読む頃には、私はすでにアメリカに戻っています。私の妻も私も、以前の仕事に戻っているでしょう。みなさんは、持ち物すべてを梱包し、日本に2年の間移住する価値はあったのだろうか疑問に思うかもしれません。もちろんありました！日本での生活は私たちの人生の中で最高の経験の一つです。私たちはたくさんの息をのむような光景を見て、おいしいものを食べ、素晴らしい友達がたくさんできました。外国人を社会に受け入れようという日本の意欲はとても素晴らしいと思います。日本が私に与えてくれたほどのことを日本に返すことができたらいいなと思います。この小さな原稿には、私たちの経験すべてを要約しきれないので、最後に一つお勧めします。もし外国に住む、または旅行する機会を得たら、ぜひ！あなたの人生はがらっと変わるでしょう。さようなら、ありがとう！



ショーン